

# 令和4年度 家庭教育学級 開級式資料

常総市教育委員会 生涯学習課

中学校1年生の保護者のみなさんへ

## 家庭教育学級とは…。

- ① 子育てについて学ぼう
- ② 学校を知ろう
- ③ 仲間をつくろう
- ④ 家庭生活を豊かにしよう  
(家庭の在り方、親としての在り方)

常総市では、家庭において子どもを正しく理解し、健やかに成長していくことを願って、子どもに関わる様々な課題について、1年間、計画的継続的に学習する場として開級しています。

## コロナ禍における話題の子育てニュース

- ・ 小中高校の児童生徒自殺者が過去最多
- ・ 小中学校の不登校児童生徒数が過去最多
- ・ いじめの減少
- ・ パソコンや携帯電話によるいじめの増加
- ・ 児童虐待の相談対応件数初20万件超

**私たち保護者が自分事として社会問題と向き合うことが大切！**

## 最近のお子さんのことで気になることは…。

- ・ ○○○が不安だ…。
- ・ ×××はこれからどうなるの？
- ・ △△△はうまくいくかな？
- ・ □□□に自信がない…。
- ・ 勉強や進路
- ・ 部活動
- ・ 友達関係  
etc

**不安をやわらげるのは家庭教育の力！**

## 中学生になると…

- ☆ 行動範囲や友人関係が広がる  
いくつもの課題に向き合い  
成長する時期

### 自分探しの旅

## 中学生になると…

- ☆ 心と体が大きく変化する  
子供をどのようにサポート  
すべきか迷いが生じる時期

### 思春期に突入

## 思春期は誰もが通る道！

思春期を「成長」ととらえて  
「思春期キター！！！」  
と思えるか。

子供に流されず、ぶれない子育てを！

## 親としての大前提！

子供を  
愛する力！  
尊重する力！

### ① 子供の話をしっかり聞こう。

#### 会話と対話の違いは？

- ・子供を尊重しようとする意識があるか？
- ・子供と真つ正面から向き合う覚悟があるか？
- ・話をする意味が共有できているか？



一方的なものになっていませんか？

### ② 子供に関心をもち、常にアンテナを高くしよう。 子供の行動の把握

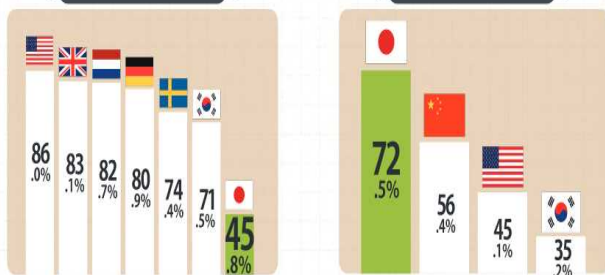
先生から  
地域から  
保護者同士から

誰と仲が良いのか？  
どんな日常生活を送っているのか？

### ③ 積極的に褒める姿勢を大切にしよう。

自分自身に満足している

自分はダメな人間だと思う



日本人は自己肯定感が低い！！

### ほめることで自己肯定感をUP！ 人には認められたい「承認欲求」がある

- ☆ 有効な言葉かけ  
「えらいね」「できたね」  
「がんばってるね」  
「父さん母さんもううれしいよ」  
「ありがとう、助かったよ」  
※ あたたかなまなざしで伝えよう！

## ほめることで自己肯定感をUP！ 人には認められたい「承認欲求」がある

☆有効な言葉かけ

「えらいね」「できたね」

「がんばってるね」

「父さん母さんもううれしいよ」

「ありがとう、助かったよ」

※あたたかなまなざしで伝えよう！

## ④ 小さなサインを見逃さないようにしよう。

- ため息をついたり、口数が少なくなる。
- 家族を避け、隠し事があるような気配がある。
- 登校時になると具合が悪くなる。
- 学習意欲がなくなったり、なげやりになったりする。
- 衣服が汚れたり、破れたりしていることがある。
- 持ち物をなくしたり、こわされたりすることがある。
- 怒りっぽくなったり、乱暴な言葉づかいや態度が多くなる。
- 目つきがきつくなったり、視線をあわせなくなったりする。
- 髪型や服装を気にする。
- 金づかいが荒くなったり、頻繁にこづかいを要求したりする。
- 帰宅時間が遅くなったり、わけを聞いても応えなくなったりする。

まなびネットいわて 子育てワンポイントアドバイス 中学校編より

## ⑤ 家庭生活を充実させ仲の良い姿 を見せよう。

- 親は私の味方だ
- 親は私を守ってくれる
- うちにいれば安心だ

家が安らぎのある心地よい場所に！

## 「親力」を高めなければならない

- ・朝の元気なあいさつ（親から子供へ）
- ・仕事に対する姿勢（元気に家を出る 愚痴は言わない）
- ・周囲に対する態度（自分の両親や周囲の住人）
- ・社会人としての自覚（ルールを守る、マナー向上）
- ・休みの使い方（自分も家族も楽しめる）
- ・父母が互いに尊重する

親は「子の鏡」

直近の大人として

見本である自覚が必要です。

## 親に必要な力

子供を愛する力！子供を尊重する力！

- ① 対話する力
- ② 行動を把握する力
- ③ 褒める力
- ④ 気付く力
- ⑤ 安心させる力

思春期の  
子どもの心に  
寄り添うために

お子さんの**幸せ**はみんなが望んでいること。  
みんなで子育てを楽しみましょう！

茨城県教育委員会

## 思春期の子どもへのかかわり方10の提言

1

たくさんの変化が出てきているときです。押さえ付けず個性が育ってきているという受け止め方をしてあげましょう。

6

将来なりたいもののために、今どうしておけばよいか、子どもなりに勉強する意味が分かるように、将来像を今につないであげる工夫をしましょう。

2

短時間であっても、1日1回は子どもと向き合って話を聞いてあげましょう。親の意見を言う前にていねいに子どもの話を聞いてあげることがコツです。

7

子どもとのかかわりで、立ち止まり修正するゆとりを心掛けましょう。親の考え方が、正論であるほど修正しにくく、子どもを責めがちになります。

3

「○○したら」と助言する前にまず子どもなりの不安や孤独感に触れて、共感しながら悩みを聞いてあげましょう。

8

主語のあるきちんとした対話を心掛けましょう。「○○君は、そう思うんだ」「お父さんは、こう考えるけど」などの話し方が、子どもの自立に役立ちます。

4

「悩み」も健全に成長していることの証しであることを伝えてあげましょう。そのことでずいぶんと落ち着けることもあります。

9

子どもの駄目な部分を直そうとするより、成長しようとする力を応援しましょう。そのためには子どもの持っているものや、やれることにも注目しておきましょう。

5

たとえ忙しくてもちょっとした努力で忙しくみせないことができます。普段から話しやすい雰囲気づくりに努めましょう。

10

親自身が、今を充実して楽しんでいる姿を見せましょう。「あんなに楽しそうにしているいな、大人になるっていいな」という思いにつながるメッセージになります。

## 子どもへのかかわり方を振り返ってみましょう。

次の問いについて、自分に心当たりがある方はチェック☑してみてください。  
もしかしたら、子どもの教育に対して、少々かたくなだったり力が入り過ぎたりしているかもしれません・・・。

子どもに説教を始めたら、止まらなくなることが多い

子どもに嫌われるのが怖い

子どもを説得する自信がない

「子どものよいところを10個以上挙げろ」と言われたら、困ってしまう

うちの子に限って問題を起すはずがない

子どもにできるだけ好かれていたい

子どもをほめるのが苦手だ

子どもには弱みを見せるべきではない

ときどき、親としてどうしてよいか分からなくなる

自分の趣味に取り組んでいると、子どものことをすっかり忘れてしまう

つい手出し、口出してしまふ